



樋渡 利光

### 本庁舎移行後、 各庁舎の利活用は

#### 市長

いろいろな跡地利用の検討、議論をしていく

**問** 市長の施政方針の中で「共につくる新しいまち」では、①地域に活力を生む維持可能な自治体経営のまちを基本目標とした行政改革大綱や改革プランに基づいた行政改革の推進、②本庁舎移行スケジュールに沿って増築、庁舎の建設、本庁方式へ移行を進め、本庁舎移行後、各庁舎の利活用の検討を推進となっているが、この件について市長はどのような構想を持ち述べられたのか。

**答** (市長) 本庁舎移行後、それぞれの地域、地域の庁舎跡については、小城市舎は、今現在、中心市街地の活性化の認定

を受けた事業として、これは仮称だが交流プラザということでのワークショップ等々を開き、いろいろ検討している。牛津庁舎は、まだ未定だが、

計画を進めている。

#### その他の質問

○市内河川の管理について

望も出てくる状況である。芦刈庁舎は、これはまちづくり交付金事業を合併後からいろいろ取り組んでいる。今現在、跡地利用を含め芦刈地区の拠点づくり



▲増築中の本庁舎 (三日月)



西 正博

### 市内クリーク整備事業の内容は

#### 市長

事業申請に向けて、関係資料を作成している

**問** 県は、のり面崩壊が進む佐賀平野のクリーク整備に約10億の予算を計上した。国営の事業については説明を受けたが、県営事業について事業内容が不明瞭だが。

**答** (市長) 24年度から10年〜12年間かけて



▲整備が待たれるクリーク

事業を進めていくが現在、資料を作成中。国営・県営合わせて、市内、86キロのクリークをコンクリートブロックや木さくで整備していく。

#### 教育現場へのICT利活用導入について

**問** 24年度予算で事業費約2億4千万円、事業費合計で約9億6千万円を投入し、事業が計画されている。国、県からの補助はなく、市の財源と合併特例債で賄うにはあまりに巨額であ

り、また、先生方の不安意見もあり、機が熟していないとも思われるが。

**答** (教育長) 県として人的支援を行うことを表明。市としても苦慮をし、腐心をしている状況でもあるが、避けて通れないものもあり、現場の先生方の理解は進めていく。

#### その他の質問

○学校への扇風機の設定について  
○農業6次産業化の推進について  
○聴覚障がいの方への施策について



江島佐知子

### 国保赤字解消は 市民理解が不可欠

#### 市長

税率改正が基本だが、  
十分な協議が必要

**問** ①国保の23年度の見  
通しは。

②24年度予算の考え方。

③県下全域での広域化を  
控えているが、取り組み  
はどうなっているか。

**答** (市民部長) ①前年  
度より約4千万円の  
収入増だが、23年度だけ  
で約2億3千万円の赤字  
の見通し。

②国保税の徴収率を現年  
度95%、過年度25%まで  
アップし、医療費の伸び  
を抑える。

③県内でも税率が低いの  
で、まずは税率を改正し  
て、赤字が解消できなけ  
れば一般会計からの繰り  
入れも必要。



▲健康づくり事業

#### 問

累積で約4億円の赤  
字を抱えることにな  
るが、国保税率の改正や  
一般会計からの法定外の  
繰り入れは市民の理解が  
不可欠。国保運営協議会

#### その他の質問

○健康増進の取り組みに  
ついて

や議会でも早急  
に協議し、運営  
健全化への道筋  
を示して市民の  
理解を得るべ  
き。

**答** (市長) 税  
率の改正が  
基本。将来展望  
を想定した中で  
税率改正や一般  
会計からの繰り  
入れの課題の協  
議を深めたい。



下村 仁司

### 牛津川のゴミ対策は

#### 市長

地域が元気になると市財政の  
歳入確保になると思う

**問** 12月議会で質問の後、  
毎日巡回し、川のゴ  
ミを見ているが何の変化  
もない。如何にされたか。

**答** (市長) 河川へのゴ  
ミの不法投棄やポイ  
捨て等を防ぐために地域  
等の環境美化活動と住民  
モラルが不可欠であり、  
なお一層の啓発等努めて  
いきたい。

**問** 旧小城町内の水路の  
スクリーンの活用は。

**答** (環境課長) 旧小城  
町時代は、スクリー  
ンのゴミの処理は直営で  
回収していたが、新市に  
なり春秋の水路清掃の折  
のみ、下流へゴミを流さ



▲流域の雑木に付着したゴミ

ないために利用している  
が、通常は施設のみであ  
る。雨天の時は浮遊ゴミ  
は下流地域へ流れ、回収  
するゴミがたまれば、建  
設課と連絡を取り、河川  
事務所をお願いしている。



深川 高志

## どうする 市営住宅建て替え事業

### 市長

現在継続して、  
検討を行っている

**問** 市営住宅建て替え事業は、今現在、計画等も聞かれない。牛津保育園の移転に伴い、市有地に市営住宅16戸分を建て、借地である柿樋瀬団地の問題を解消する計画が出されており、二か所の分散建て替えが適切か

との問題があり、その後は事業計画において何の進展も見られないが、今後の市営住宅建て替え計画をどうするのか。

**答** (市長) 小城市住宅建て替え基本計画で、牛津地区の4団地は、借地問題もあり、



▲柿樋瀬団地

地問題もあり、借地問題も、集約して建て替えることが望ましいと検討してきた。しかし、柿樋瀬団地の契約を平成26年末までに解除したいとのことから、一括建て替え案とあわせて、柿樋瀬団地を

先行して建て替える案についても検討していた。今後の建て替え事業については借地の返還期限も迫っており、効率性、費用面等いろいろな角度から現在継続し、加えて、牛津地区の市街地活性化も念頭に置き、総合的に検討している。分散して建てるか一括して建てるのか、事業効果、借地の期限の問題など踏まえてどちらかに選択していく。

### その他の質問

○新幹線の安全対策問題について  
○土地利用計画の考え方について



合瀬 健一

## 総合運動公園予定地の活用は

### 市長

有効な利用方法がないので  
現状で保全する

**問** 市が土地開発基金で保有している総合公園予定地を一般財源での買い戻しを計画されているが、その目的は。

**答** (市長) 長年、利活用について検討して

いるが有効な手段が見出せないことから、造成を行った部分より計画的に一般財源より取得を行う。

**問** 将来に向けてこの土地をどのように生かすのか。

**答** (市長) 大変広い面積を有しているのには厳しい。整備している道路敷については民間活力を導入して、民間の住宅、あるいは福祉施設等が考えられる。市単独での事業は非



▲旧運動公園予定地

常に事業費がかかるので民間活力を利用したい。

### 市道土生・戊線と203号線との接点の改良は

**問** 市道土生・戊線と203号線との接点交差点は非常に危険である。改良はできるのか。

**答** (市長) 住民の要望もあるので検討したが、いろいろな条件を総合的に考えると相当費用がかかり、市単独でやるのは非常に厳しい。



▲今年は惜しくも3位に終わった県内一周駅伝

**問** 市の長期計画の中で「スポーツは健康や体力の維持・増進に役立つだけでなく、日々の親交や交流を深め豊かな社会地域形成をするものと

し、重要な役割を担っていきます」とされている。近年のスポーツ振興に伴いスポーツ活動が行われる環境づくりが求められているという市民の声も

反映し、市において総合運動公園的な施設を整備する考えは。

**答** (市長) スポーツ活動の拠点として総合運動公園的な施設を考える場合、内容や既存の施設の在り方や財政面を考え中長期

**答** (市長) ①継続して実施につなげていく。②理解され事業は今進んでいると思う。③24年度内には説明を行う。

**問** ①清水地区駐車場整備計画の今後②吉田地区急傾斜地崩落防止事業の地元理解は得られているのか。③小城地区下水道処理区エリアの見直し後、エリア外の市民への説明は。

**明は** 公共工事の進め方と計画性、市民への説明は

的な施設整備計画を定めて進めていくことが必要と考える。



中島 正樹

**市長** 整備計画を定めて進めていくことが必要

市総合運動公園整備は市民の声



松尾 義幸

**教育長** 先人が残したものはきちんと検証していく

代官の有身五輪塔を保存活用せよ



▲平川与四右衛門建立の有身五輪塔 (横辺田代官 多久七郎太夫安総の墓)

**問** 石工の里の歴史を残す取り組みについて、①横辺田代官の墓地がある牛津町谷の退耕庵の保存、活用を。②江戸時代に山伏の里であった牛津町谷や両新村の石蔵坊、養賢坊、改然坊跡を史料に。③小城市立歴史資料館や赤れんが館で石仏展の開催を。

**答** (教育長) ①退耕庵跡は、荒廃が進んでおり、砥川石工の名工平川与四右衛門作の石塔が残されている。②砥川地区一帯に修験場が盛んであったことを示すものがない博物館構想で、砥川地区一帯を石工の里展示館と位置づけている。歴

史的な史実等の内容を確認するため解明調査が必要。成果をもとに市文化財保護審議会の意見を伺う。③砥川地区と小城町三里の西川地区や右原地区にもすぐれた石工がいた歴史があり、市内には多くの石造物が残されている。石仏展までは考えていなかった。今後の検討課題とする。

その他の質問

- 人口増対策について
- 有明海の再生について
- 森林、林業再生プランの実行について



▲クリーンパークさが (唐津市鎮西町)

**問** 小城市は可燃物のゴミ処理については現在唐津市にある県のクリーンパークまで搬出し処理

を自前で持っている。8年後には、佐賀市、小城市、多久市での広域処理の計画はどうなったか。処理場

**答** (市長) 小城市合併以来ゴミ処

を自前で持っている。8年後には、佐賀市、小城市、多久市での広域処理の計画はどうなったか。処理場を自前で持っていない不安解消をどうするのか。高い処理費用がかかっているが早急に小城市、多久市で処理場を建設し長い目でみれば安価になる方策を採ったほうがいいのではないか。

処理場の建設について経緯、経過がある中で、佐賀市も現在4か所でも処理しているのを1か所に集約する課題を持っている。そういう中で三自治体が広域化の話し合いをする事ができなかった。そこで小城市多久市共同で処理場の建設をしていくべきと認識している。県の施設にいつまでも委託できないし、多久市が処理している施設にも年限があるので小城市・多久市で共同の処理場の建設については、地元の理解が得られる候補地があれば協議会で進める。



上瀧 政登

## 可燃物ゴミ処理場の早期建設を

市長

小城市・多久市共同で処理を検討



香月 千恵美

## 男性も育児休暇をとる職場作りを

市長

まず、相談しやすい職場の雰囲気作りをしていく

**問** 核家族が進む今、母親が育児を助けることで育児不安が解消する。男性職員の育児の取得はゼロだが、その理由は。

**答** (市長) 男性にも育児をとってほしいという思いはあるが、職場の中で浸透していない。

**問** 職場に迷惑とか、出勤への影響などを心配して育児をとることに根強い抵抗感があるのではないかと。育児がとりやすい職場は、看護休暇や介護休暇をとりやすい環境ともし、今後さらに大切になる。首長や上司の考え方が左右する。子



▲課題が多い父親の育児休暇取得

職場に迷惑とか、出勤への影響などを心配して育児をとることに根強い抵抗感があるのではないかと。育児がとりやすい職場は、看護休暇や介護休暇をとりやすい環境ともし、今後さらに大切になる。首長や上司の考え方が左右する。子

育て支援の充実のためにも、男性も育児をとれるよう後押しをしてほしい。

**答** (市長) そのためには、各課の中で話し合い、相談、協力しあう環境づくりが先決だ。

## 旧広域農道の県道昇格要望の扱いは

**問** 本庁整備や佐賀唐津道路のインターチェンジ構想もあり、いつもの交通量増加が予想される交差点改良も急がれる。

**答** (市長) 市道と県道の双方交換が基本との回答で、今後も強く要望する。



諸泉 定次

### 子どもサポーターへ もっと支援を

#### 教育長

限られた財政で、  
他市より充実している



▲子どもたち1人ひとりに寄り添う子どもサポーター

#### 答

(教育長)

①非常に専門性が高く平成22年度末に9名の退職で、5名と平成23年度末に2名を特例的に6年雇用とし、入れかえの平準化を図る。嘱託職員の雇用期間は5年間である。②校外活動におけるサポーターは原則行わないと雇用条件に明示している。③国の緊急雇用で保育園・幼稚園への支援員が平成23年度で打ち切られ、市費で大幅な人員減を防ぐ。小城市では保健師が大きな力を発揮し、早期発見早

**問** 特別支援や発達障がい児への対応として①子どもサポーターの雇用の弾力化②修学旅行への同伴③保育園・幼稚園の支援員の充実④定員枠20名の増員化を図るべき。

期教育になっている。④学校現場の人員増の声は承知しているが、定員枠は現行のまま、他市より充実している。

### ごみ広域化の変更は、きちんと説明すべき

#### 問

ごみ広域化の方針は変更したのか。

#### 答

(市長) 佐賀市を含めた協議が難しく、小城市と多久市で協議を再開した。

### その他の質問

○学校給食費の徴収について



光岡 実

### 清水地区 駐車場建設計画の進展は

#### 市長

24年度で着手し、  
26年度で完了予定

**問** 小城市の観光振興の中で、清水地区における駐車場建設計画は、どう進展しているのか。

#### 答

(市長) 清水地区は古くから、清水の滝

への観光客、また鯉料理店への来客等あり、本市の観光の重要地区である。しかしながら、夏場の最盛期、竹灯り期間等は、とても十分とは言えず、また、大型バス駐車場もないので、団体観光客誘致には大変苦慮している。そういう中、観光振興の面から、駐車場整備事業の推進をしていく。24年度、駐車場整備計画の着手を考

#### 問

今後の具体的な計画は。

#### 答

(市長) 24年度は不動産鑑定業務、家屋移転に伴う補償費調査業務を行い、25年度より、地元説明、用地交渉をし、26年度完了をめざしたい。

### その他の質問

○熱中症対策について  
○中学校武道必修化に向けての安全面の対策について  
○ネット社会における、情報モラル向上への取り組みについて



▲去年の清水竹灯り風景



市丸 典夫

晴田小南側国道に歩道設置を

市長

非常に危険な状況である。要望を続けていく



▲歩道設置が望まれる国道

答

(市長)平成23年10月

に国からの調査があり歩道設置については、事故ゼロプランの対象箇所へ組み込んでいくとの回答がなされている。しかしながら、佐賀国道事務所管内のほ

かの箇所との優先順位を勘案しながら整備を行うため、現在は事業化までは確約されていない状況である。

問

子どもたちの安全のために歩道設置は必要だ。市長の今後の方針、考えは。

子どもたちの安全のために歩道設置は必要だ。市長の今後の方針、考えは。

答

(市長)数年前から国道事務所に要望している。非常に危険な状況である。引き続き要望を続けていく。

非常に危険な状況である。引き続き要望を続けていく。

まちなか交流プラザのワークショップについて

問

予定されている4回のワークショップ意見の集約ができるのか。

答

(建設部長)5回をめどに進めていきたい。

その他の質問

○アイル基金について



岸川 弘文

人口減少社会にどう対応する

市長

企業誘致と地元雇用を促進する

問

人口減少社会の問題は、多面的で基盤から揺るがす難しい問題を含んでいるが、どのような取り組みで定住人口を促進しようとしているのか。また、住民のニーズの中には、市に対する満足度は、最も不満な項目で、工業用地の整備と優良企業の誘致がトップに上がっているが、今後施策にどう反映させるか。

問

3カ年間のモデル事業として実施した安心生活創造事業の検証と問題点は何であったか。

答

(福祉部長)22年度の65歳以上の独居老人世帯は、1.5

48世帯で見守り世帯は、約800世帯、見守り体制は、民生委員、社協、郵便局員、牛乳配達員等で、この内買い物支援を商工会、商店等

(市長)24年度から定住促進事業をスタートさせ、まず市内の方々からPRを行い、中長期的に施策に取り組む。また市外への人口流出を防ぐ定住促進を促す施策として、企業誘致と地元



▲安心生活創造事業 (買い物支援)

雇用を促進させる。

このネットワークで行った。自主財源の確保は、今後の課題。



▲放置されたままの小城藩第2代藩主直能公寄進の肥前鳥居の柱

**問** 天神社の肥前鳥居の柱の左右一対の一部が、修復後もそのままに曝され放置されたままになっていて。また、新たに建て替えられた柱の銘文の文字に誤字が多く文化財として捉えた場

合、文化を守り伝える大事な役目を担う小城市の行政のあり方が問題だ。適切な指導を怠ったこと、文字の間違いに目をつむったこと、そして、残った二本の石柱を放置し続けているという三つの間

**答** (市長) 我々も文化財や史跡に目を向けてはいるが、余りにも多過ぎて完全にできて

違いを犯していることを指摘されたら小城市の末代の恥と思うが感想は。

**問** 可能性ある未来からの投資である予算を膨らませる力量が行政に問われている今、6次産業について後期総合計画に農商工の連携がうたわ

れているが、具体的な青写真は。

**答** (産業部長) 地域の活性化、雇用創出という中で、観光協会とタイアップしながら6次産業を起こし活性化に結びつけていきたい。



富永 正樹

**市長** 史跡や文化財に目を向け保護管理をしていく  
**観光資源の調査と保護整備を急げ**



▲小城駅舎の景観

**問** 市民交流プログラムの進捗状況は。

**答** (市長) 小城市庁舎跡地については、跡地利用検討委員会にて検討中。小城市の産業振興にも寄与できるセンター的なものが必要。

**問** 財政運営の厳しい中、市街地の整備の中心市街地活性化の基本計画はどう進んでいるのか。

**答** (市長) 小城駅前広場整備事業は駅前広場、化推進事業は茶屋の周辺



岸川 英樹

**市長** 限られた財源を有効に活用、堅実な市政運営  
**24年度予算による事業効果とは**

**問** 商工業の振興で牛津町について集客力の向上のための計画とは。

**答** (市長) 牛津の中心市街地は「セリオ」を核として形成されて、イベント事業や、市営住宅等の建設等による人口誘導につなげる。空き店舗対策については、商工会と連携し進める。にぎわいの創出、金融支援により経営の安定化を図る。



大坪 徳廣

## 佐賀空港初の 上海便就航について

市長

絶好の機会  
経済交流等も図っていきたい



**問** 今年1月18日に佐賀空港初の国際線上海便が就航した。小城市としてどのような対策を講じられたか。

**答** (市長) 佐賀県も中国に代表事務所が開設され、今回佐賀空港の国際線就航を絶好の機会として、小城市の基幹産

業である農業を進め他産業を含めた小城市産品を積極的に推進できるような多角的に研究を行い関係機関に協力を願う中国市場でも出回るような経済交流等々も図っていききたい。

**問** 本庁舎周辺整備について西側道路整備と畜産農家対応はどうなっているか。

**答** (総務部長) 現時点で用地の確保の話はしているがまだできていない。  
(副市長) 個人的に考えを聞きたいということでは将来のこと等も話をしていく。  
(市長) 今後あの場所です畜産が継続できないということになるかと移転しかなければならないことではある。移転も視野に入れて協議する。

### 平成23年度議長交際費支出状況一覧

昨年4月1日から今年3月末までの議長交際費です。(単位:円)

区分	件数	金額	内 訳
弔 慰	5件	30,000	供花2件・香典3件
賛 助	0件	0	
接 遇	7件	61,220	総務委員会視察の折、土産 5,990×2カ所 産業建設委員会視察の折、土産 13,000×4カ所 文教厚生委員会視察の折、土産 7,510×3カ所 広報編集委員会視察の折、土産 5,360×2カ所 議会運営委員会視察の折、土産 5,360×2カ所 関西むつごろう会土産折半(総務) 6,000 関東町人会の折、土産 18,000 旧4町分
会 費	8件	184,000	三日月町商工連盟総会 5,000 関西むつごろう会 20,000 在京芦友会 30,000 関東小城の会 50,000 関東三日月町会 50,000 福岡むつごろう会 20,000 副所江協議会期成会総会会費 4,000 小城羊羹組合新年会 5,000
御 祝	4件	25,000	漁業経営指導船進水式 5,000 三日月商工連盟50周年記念祝賀会 5,000 小城羊羹組合60周年祝賀会 5,000 友樹飲料竣工披露パーティ 10,000
その他	2件	9,300	J A さが佐城支部春魂祭の折 4,650 小城羊羹協同組合総会の折 4,650
合 計	26件	309,520	

### マスクの寄贈を受けました



2月24日(金)、三日月町の(株)ティオテクノ(森繁章代表)様より今年もまた、市内小・中学校の児童、生徒用に子ども用マスク23万枚の寄贈がなされた。(株)ティオテクノ様には22、23年度と毎年寄贈していただき感謝致します。

### 小城市議会基本条例(案)への意見

小城市議会で策定している議会基本条例(案)に対する市民のパブリックコメントは、2月17日で終了しました。

#### 【市民からの意見】

重要な政策提案に至る経緯をチェックしてもらい、審議会等での議論、意見等を報告するようにしてほしい。

#### 【市議会の考え方】

行政が提案する政策等について、7項目の説明を求めることを規定し、公正、透明性の確保に努めます。